

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年7月8日	
愛媛県知事 中村 時広 殿	
提出者	
住 所 愛媛県西条市小松町妙口甲806-1	
氏 名 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社小松工場 中国・四国製造統括 関 幸夫 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 08071478449	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	コカ・コーラボトラーズジャパン 小松工場
事業場の所在地	愛媛県西条小松町妙口甲806-1
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	年間1300万ケース製造予定
③ 従業員数	84 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コーヒー粕・茶粕	廃プラ
	排出量	1879 t	28 t
	(これまでに実施した取組) コーヒー粕・茶粕の有価引取り先との新規契約と適切な分別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コーヒー粕・茶粕	廃プラ
	排出量	1335 t	28 t
	(今後実施する予定の取組) コーヒー粕・茶粕の有価引取り先との新規契約と適切な分別		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) プラスチック類の適切な分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状に引き続き、適切な分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 自社での産業廃棄物の再生利用の実績は無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自社での産業廃棄物の再生利用の検討		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	4712 t	t
(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水による減量を実施			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	4174 t	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、汚泥の脱水処理による減量			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物を海洋投入の処分は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 昨年同様、産業廃棄物の海洋投入は行わない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	豆粕・茶粕	汚泥
	全処理委託量	695.23 t	849 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	800 t
	再生利用業者への処理委託量	695.23 t	849 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	800 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 有価引取り先との契約		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	豆粕・茶粕	汚泥
	全処理委託量	2,934 t	752 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	704 t
	再生利用業者への 処理委託量	2934 t	48 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	704 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 有価引取り先との契約			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書	
令和6年7月9日	
愛媛県知事 中村 時広 殿	
提出者	
住 所 愛媛県西条市小松町妙口甲806-1	
氏 名 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	
中国・四国製造統括 関 幸夫	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 08071478449	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	コカ・コーラボトラーズジャパン 小松工場
事業場の所在地	愛媛県西条市小松町妙口甲806-1
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	年間 約1200万ケースの製造
③ 従業員数	84 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コーヒー粕・茶粕	廃プラ
	排出量	2001 t	27 t
	(これまでに実施した取組) コーヒー粕・茶粕の有価引取り先との契約 2023年度 5社 適切な分別		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コーヒー粕・茶粕	廃プラ
	排出量	1952 t	30 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、有価での引き取り先との契約 適切な分別		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) プラスチック類の適切な分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状に引き続き、適切な分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 自社での産業廃棄物の再生利用の実績は無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自社での産業廃棄物の再生利用の検討		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	4712 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水による減量を実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	849 t	t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、汚泥の脱水処理による減量			

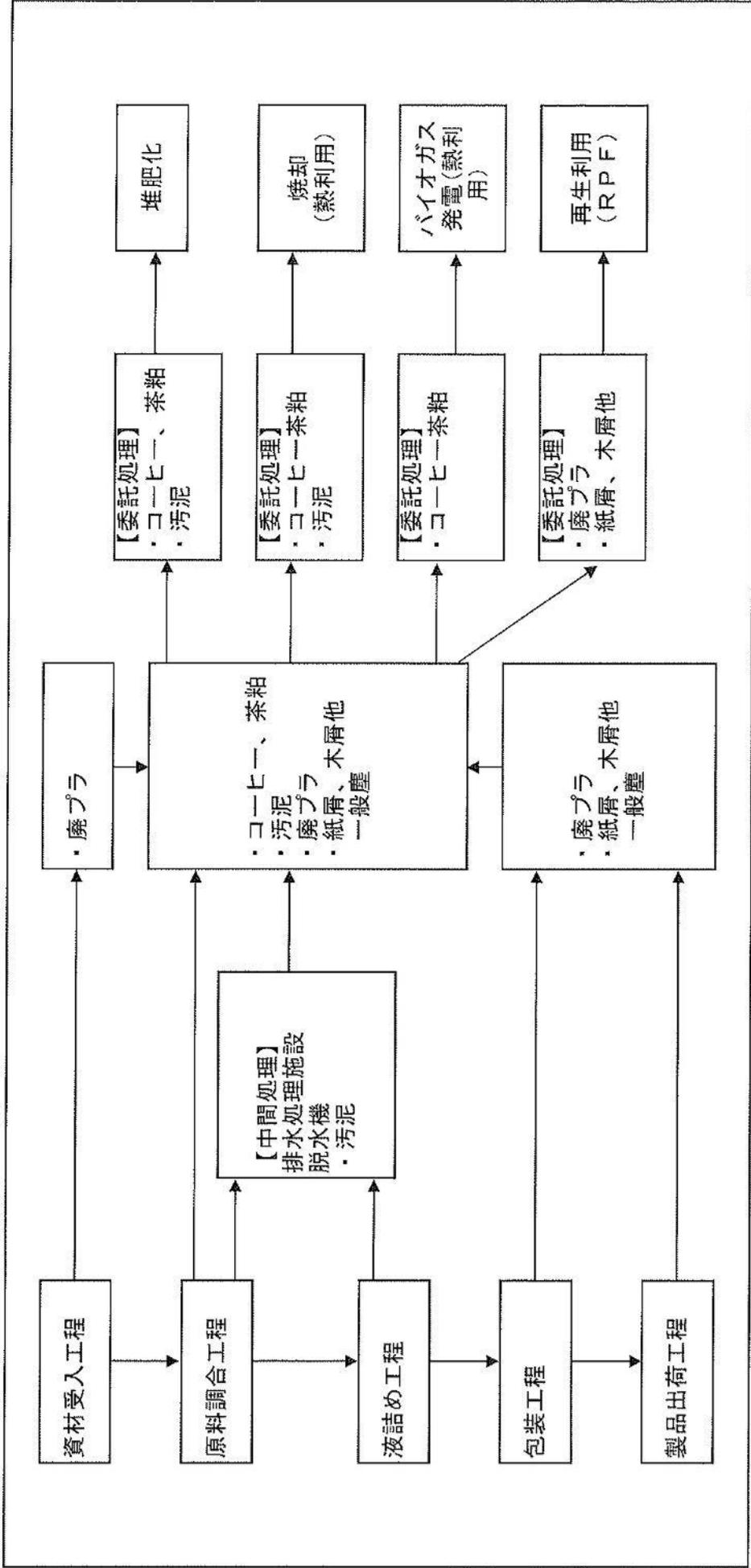
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物を海洋投入の処分は実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 昨年同様に海洋投入処分は行わない		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	豆粕・茶粕	汚泥
	全処理委託量	2002 t	849 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1624 t	805 t
	再生利用業者への処理委託量	1624 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	849 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 有価引取り先との契約		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コーヒー粕・茶粕	汚泥
	全処理委託量	1951 t	721 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1609 t	700 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	1951 t	721 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 有価引取り先との契約			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

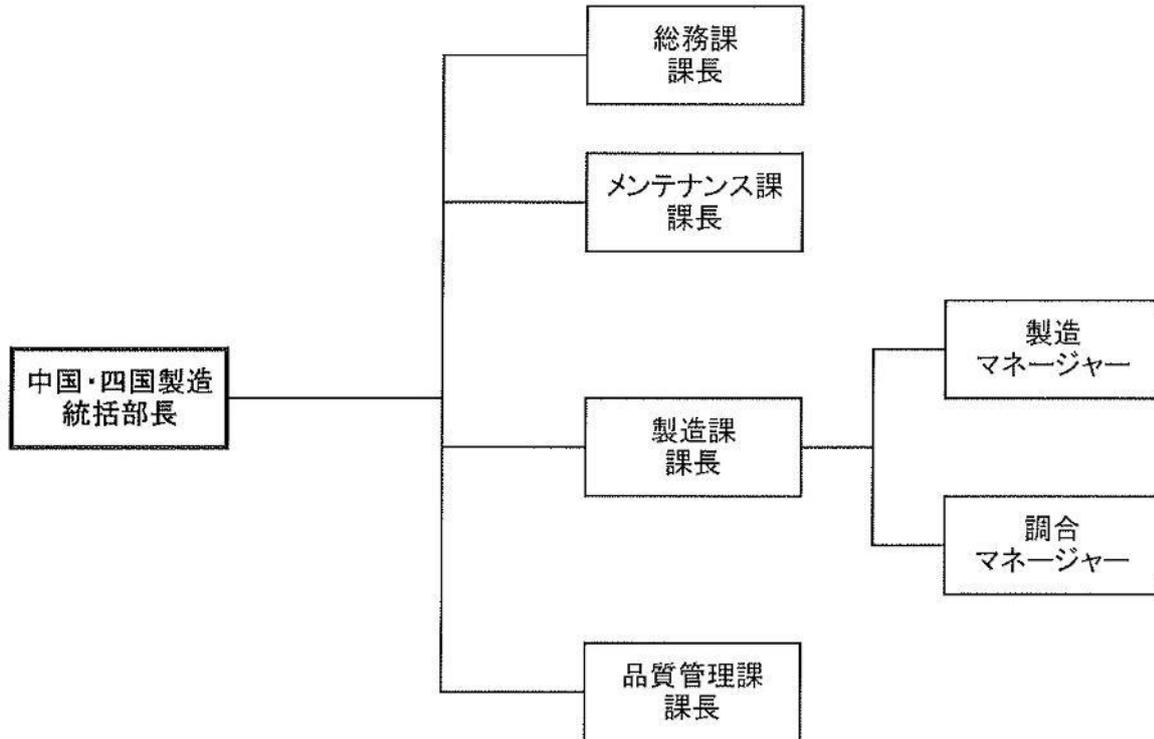
コカ・コーラ ボトラーズジャパン (株) 小松工場



管理体制図

1) 組織図

コカ・コーラ ボトラーズジャパン (株) 小松工場



2) 職務分担

職 名	業 務 内 容	
	全 般	産 業 廃 棄 物 の 管 理 に 関 す る こ と
中国・四国製造統括部長	工場全体の業務を統括	統括責任者
総務課長	総務課を統括	産業廃棄物担当責任者 特別管理産業廃棄物管理責任者
メンテナンス課長	メンテナンス管理に関する業務を統括	
製造課長	製造・調合を統括	
製造マネージャー	製造に関する業務を統括	
調合マネージャー	調合管理に関する業務を統括	
品質管理課長	品質管理に関する業務を統括	